

私は、日本共産党を代表して、陳情第7号核兵器禁止条約に署名・批准を国に求める意見書提出についての陳情に賛成の立場で討論します。

この陳情は、核兵器禁止条約に署名・批准することを国に対して求めるものです。

今、世界では、ロシアのウクライナ侵略、イスラエルのガザ侵攻で、子供や女性、高齢者など市民に多くの犠牲者が出ています。戦争は、エスカレートすることによって人類破滅への道を突き進むことが歴史の真実として示されています。核兵器の使用は最悪の選択となります。

今年のノーベル平和賞は、日本原水爆被害者団体協議会に授与されました。長年の地道な活動で、被爆の実相を世界に広げ、核兵器の非人道性を明らかにし、核兵器禁止への運動をつくり出してきた活動が認められたものです。

私たちは、日本被団協のノーベル平和賞受賞を心から喜びたいと思います。このニュースは世界を駆け巡り、核兵器のない世界を願う全ての人々に限りない励ましと勇気を与えています。

日本は、唯一の被爆国であるとともに、憲法第9条を持ち、再び戦争をしないことを誓い、核兵器については、非核3原則を堅持する立場を圧倒的多数の国民の意思として示しています。

しかし、日本政府は、核保有国と保有しない国との橋渡しをすると言いながら、核兵器禁止条約の批准どころかオブザーバー参加もしていません。

よって、この陳情第7号核兵器禁止条約に署名・批准を国に求める意見書提出についての陳情に賛成し討論といたします。